

平成20年5月吉日

生き物文化誌学会会員 各位

生き物文化誌学会会長  
5周年記念学術大会実行委員会  
委員長 湯浅 浩史

## 生き物文化誌学会 5周年記念（第6回）学術大会 及び総会のお知らせ

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より、生き物文化誌学会の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当学会の5周年記念（第6回）学術大会を下記の要項で開催いたします。

メインテーマは「生き物文化誌とは？生き物文化誌学とは？」です。

以下のようなプログラムを予定しておりますので、会員の皆様のご参加を心からお待ちしております。

参加を希望される方は、同封の参加申込書に必要事項をご記入の上、**6月12日（木）**までに郵送又はFAXにて5周年記念（第6回）学術大会実行委員会までお申し込み下さい。

敬具

記

**日 時：平成20年6月20日(金)～21日(土)**

**場 所：東京国際交流館 プラザ平成**

住 所：〒135-8630東京都江東区青海2-79 国際研究交流大学村内  
TEL：03-5520-6001  
URL：<http://www.teic.jasso.go.jp>

**テーマ：「生き物文化誌とは？生き物文化誌学とは？」**

**：：：：：大会プログラムの概要：：：：：**

(※都合により内容、時間に変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。)

**＝6月20日（金）＝**

**受 付（12：30～）【4階 フロア】**

・受付にてネームプレートを受取り次第、会場にお入り下さい。

**ポスターセッション（13：00～17：00）【4階 ホワイエ】**

1) 「スギ埋木成分の化学変化について」

成田廣枝・空閑重則（東京大学 大学院農学生命科学研究科 生物材料科学専攻）

2) 「タイ北部の山村におけるヤオ族と陸稲とのかかわり方」

増野高司（国立民族学博物館 外来研究員）

3) 「ヒョウタン工芸は心の糧」

森 義夫 (全日本愛瓢会 会長)

**ワークショップ** (13:00~15:00)

1) 「生き物文化としての“風景”の発見」【4階 会議室3】

—生き物文化誌「学」として「風景」をどうとらえるか—

宇根 豊 (農と自然の研究所)

2) 「緒締である「鶴天」は馬の歯だった」【4階 会議室2】

①木村郁子 (富山短期大学 専攻科食物栄養学科 非常勤講師)

②梶 裕永 ( (財) 競走馬理化学研究所)

③黒澤雅彦 ( (財) 競走馬理化学研究所)

④恒枝宏史 (富山大学・院・医学薬学研究部)

⑤砂川一郎 (東北大学 名誉教授)

3) 「ヒョウタン工芸は心の糧」【4階 会議室1】

①「ヒョウタン工芸の発展経過と意義」

森 義夫 (全日本愛瓢会 会長)

②「ヒョウタンと絵」

大西愛子 (画家)

③「色々なヒョウタン工芸に挑戦して」

清水久義 (有限会社しみず 会長)

司会: 時田 勉 (トキタ種苗株式会社 会長)

**一般発表** (15:30~17:00) 【4階 会議室1】

1) 「徳之島の闘牛にみられる人と牛の関係」

チョムナード・シティサン (国立民族学博物館 外来研究員)

2) 「狼の産見舞い—群馬県六合村の十二様信仰をめぐって—」

菱川晶子 (愛知大学 非常勤講師)

3) 「神話の生き物分類」

目崎茂和 (南山大学 総合政策学部)

4) 「超自然的存在が生みだす森の利用秩序」

—インドネシア東部セラム島山地民による在地の狩猟資源管理—

笹岡正俊 (財団法人 自然環境研究センター)

＝ 6 月 2 1 日（土） ＝

**受付**（9：30～）【3階 国際交流会議場】

・受付にてネームプレートを受取り次第、会場にお入り下さい。

**記念シンポジウム**（10：00～12：00）【3階 国際交流会議場】

1) 「信仰の中の生き物」

野本寛一（近畿大学名誉教授）

2) 「風土の中の生き物」

桑子敏雄（東京工業大学大学院社会理工学研究科教授）

3) 「生活の中の生き物」

小長谷有紀（生き物文化誌学会理事／国立民族博物館戦略センター教授）

4) 「歌で語る生き物」

加藤登紀子（生き物文化誌学会評議員／UNEP親善大使、鴨川自然王国理事、城西国際大学客員教授）

**昼食**（12：00～13：30）

・会場外のコンビニあるいはビーナスフォートやアクアシティ等をご利用下さい。

**役員打ち合わせ**（12：00～13：30）【4階 会議室4】

**記念シンポジウム**（13：30～15：30）【3階 国際交流会議場】

1) 「生き物とは」

鈴木一義（国立科学博物館理工学研究部主任研究員）

2) 「生き物文化誌とは」

奥野卓司（関西学院大学社会学部教授）

3) 「生き物文化誌学とは」

池谷和信（生き物文化誌学会常任理事／国立民族学博物館民族社会研究部教授）

**パネルディスカッション**

司会：湯浅浩史（生き物文化誌学会会長／東京農業大学教授）

鈴木一義、奥野卓司、池谷和信、秋篠宮文仁（生き物文化誌学会常任理事／（財）山階鳥類研究所総裁）

**総会**（15：45～16：30）【3階 国際交流会議場】

・欠席となる場合は、必ず事前に5周年記念（第6回）学術大会実行委員会まで委任状をご提出願います。

・出席対象者は、生き物文化誌学会会員のみとなります。非会員の方の入場はご遠慮願います。

**会員交流会**（17：00～18：30）【3階 メインホワイエ】

・ネームプレートの右下に赤印のある方のみ入場出来ます。無印の方の入場はご遠慮願います。

.....

## 参加申し込みについて

5周年記念（第6回）学術大会に参加希望の方は、同封の申込書に必要事項を記入の上、

**6月12日（木）迄**に郵送またはFAXにてお申し込み下さい。

※総会（6月21日（土）15：45～）を欠席する場合は、参加申込書にあります委任状に必要な事項を記入、捺印の上、ご提出下さい。

## 参加申込書の送り先・お問い合わせ先

◎生き物文化誌学会 5周年記念（第6回）学術大会実行委員会

住 所：〒158-0083東京都世田谷区奥沢5-27-19 三青自由が丘ハイム1015号室

生き物文化誌学会事務センター内

電 話：03-5701-7861

E-mail: ikimono@net-sbs.org

**申込FAX：03-5701-6586**

.....

## 参加費について

学術大会・会員交流会の参加費は以下の通りです。

（※金額は1日・両日参加共、同金額となります。）

		前払い	当日払い
学術大会	会 員	4,000円	5,000円
	会 員（20歳未満）	2,000円	2,500円
	非会員	5,000円	6,000円
	非会員（20歳未満）	2,500円	3,000円
会員交流会	会員・非会員とも	5,000円	
	20歳未満	2,500円	

※エクスカージョンは実施致しません。

## 振込みについて

※同封の郵便振替払込取扱票にてお振込み下さい。

※通信欄に大会参加費・会員交流会参加費等、振込みの内容の詳細を必ずご記入願います。

※お振込後のキャンセルの返金は致しませんので、ご了承願います。

※会員・非会員・20歳未満、前払い・当日払い等、状況により金額が異なりますのでご注意下さい。

※振込手数料は各自にてご負担願います。

.....

## 参考資料

### ＝都営バス＝

- ・JR浜松町駅より  
虹01（浜松町駅～東京ビッグサイト・国際展示場前駅）「船の科学館駅前」下車
- ・東京メトロ東西線門前仲町駅より  
海01（門前仲町～東京テレポート駅前）「船の科学館駅前」下車
- ・東京メトロ有楽町線豊洲駅より  
海01（門前仲町～東京テレポート駅前）「船の科学館駅前」下車
- ・りんかい線東京テレポート駅より  
波01（東京テレポート駅前～中央防波堤）「船の科学館駅前」下車

☆都営バスホームページはこちら ⇒ <http://www.kotsu.metro.tokyo.jp/bus/>

### ＝電車＝

- ・新交通ゆりかもめ（新橋駅～豊洲駅）「船の科学館」東口より徒歩約3分
- ・りんかい線（新木場駅～大崎駅）「東京テレポート」B出口より徒歩約15分

### ＝車＝

- ・首都高速湾岸線東行「13号地」
- ・首都高速湾岸線西行「有明」
- ・首都高速11号台場線「台場」より約5分
- ・有料駐車場

収容台数：50台程度

利用時間：7時00分～22時00分

利用料金：最初の1時間まで300円、以後30分ごとに100円。

※ 利用時間外は出庫できませんのでご注意ください。

.....

## 宿泊について

宿泊は各自にてご手配願います。

.....

路線図（乗り換えの時間は含まれていません）

